

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度（平成31年度）	科目名	造園演習 2	
科目基礎情報					
開設学科	土木・造園科	コース名		開設期	後期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材	造園施工必携 日本造園組合連合会				
担当教員情報					
担当教員	小山恵久、熊谷直紀、右田順三		実務経験の有無・職種	有・施工管理	
学習目的					
1年次に履修した造園実習1および造園実習2の学習内容をさらに深め、前期の造園演習1に引き続き、造園業界で働くための基本的な知識、技術、考え方を習得することを学習目的とする。					
到達目標					
次の4点を到達目標とする。 ① 植物の種類や特性に応じて、適切な剪定技法・道具を選択し、作業ができる。 ② 庭園全体の現状を把握し、状況に応じた必要な手入れ作業ができる。 ③ 作業工具、機械類を安全かつ適切に使用することができる。 ④ 協働作業、道具類の扱い、準備・片付け等、作業以外の部分の重要性を理解し、自ら必要な行動をとることができる。					
教育方法等					
授業概要	屋外での実習を基本とする。天候等により授業内容、順序等を変更する場合がある。実習中はメモ帳を携帯し、で気づいたことはその場でメモを取り、教員に質問をしたり、テキストで復習をしたりすることを求める。この授業ではグループワークを採り入れる。教員主導ではなく、各グループがメンバー同士でコミュニケーションを取りながら課題に取り組むことを原則として、授業を進める。実習前の準備や実習後の片づけも重視する。				
注意点	実習には危険を伴う作業も含まれるため、レクチャー中および実習中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。服装は作業に適したものであること（サンダル、短パン等は認めない）。ヘルメットや手袋の着用など、教員の指示に従うこと。着替えは始業前に済ませておくこと。高い気温の中での作業時には水分の補給を認めるが、お茶・スポーツドリンクのみとする。授業時間数の4分の3以上出席しない者は単位を認定しない。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題	50%	実習課題への取り組みを総合的に評価する。		
	成果（実技）	20%	実習課題に対する到達度、成果を評価する。		
	平常点	30%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。		
授業計画（1回～15回）					
回	授業内容		各回の到達目標		
1回	剪定：ソテツ		ソテツの手入れができる。		
2回	卒業制作庭園 手入れ		必要な作業を判断し、適切な手入れができる。		
3回	剪定：カシ		脚立を使用した刈り込み作業ができる。		
4回	剪定：サツキ		花芽分化と剪定の関連を理解した上で、適切な刈り込み作業ができる。		
5回	マツの菰巻き		マツの菰巻きができる。		
6回	剪定：マテバシイ		脚立を使用した剪定作業ができる。		
7回	剪定：常緑樹（モッコクほか）		常緑樹の剪定作業ができる。		
8回	プロワー作業		プロワーの適切な使用ができる。		
9回	剪定：マツ		マツの剪定、もみあげ等ができる。		
10回	剪定：サクラ		花木剪定のポイントを理解し、サクラの性質に応じた手入れができる。		
11回	剪定：ウメ		花木剪定のポイントを理解し、ウメの性質に応じた手入れができる。		
12回	剪定：モミジ		モミジの自然樹形を損なわない剪定ができる。		
13回	花壇養生 寒冷紗掛け		寒冷紗による養生の意味と技術について理解し、適切に作業ができる。		
14回	剪定：果樹		果樹の剪定ができる。		
15回	実習場庭園 手入れ		必要な作業を判断し、適切な手入れができる。		